

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和4 年度

市町村名	三郷市		
提案事業名	三郷中央駅前交通広場利便性向上及びにぎわい創出検討業務		
事業期間	令和4 年度	～	令和4 年度
事業の必要性、目的	都市交流拠点に位置付けている三郷中央駅周辺において、拠点の中心である駅前交通広場の利便性に課題があるため、利用者である住民の意見を取り入れた再配置案を検討する。また、周辺の公園や高架下利活用を含めた、にぎわいの創出についても併せて検討し、市民と一緒にまちづくりを検討することでシビック・プライドの醸成を目的とする。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) 市民意識調査（アンケート）		
	(成果検証の具体的な方法) ワークショップ参加者を対象に意識調査（アンケート）を行い、今後のまちづくりへの期待感などを指標とする		
	(上記の指標を設定した理由) まちづくりに参加することで当該地域への愛着、期待感などが醸成されているか確認するため		
	(成果の目標値)		
	現状値 (年 月現在)		目標値 (4年12月時点)
	5段階評価で、特定の項目における高評価(4以上)の割合が70%以上		
	(施設建設等の場合)		
年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)	
住民への公表方法 及び特記事項			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和4年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 地域住民で考えるえきひろ構想等検討業務委託	ハード ソフト 間接補	本提案事業の主要事業。ワークショップを通じて、駅前広場、公園、高架下の課題を整理し、利活用について検討を行い、地域住民の意見を反映した計画を作成することで、当該地域のまちづくりに対する期待感を醸成する。	14,730
② 事業実現性の検証	ハード ソフト 間接補	事業規模を把握するため、提案事業に対する検証を行う。	4,270
③	ハード ソフト 間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
⑥	ハード ソフト 間接補		
合計			19,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	事業開始時に住民を対象とした勉強会を行い、住民参加によるまちづくりに関する意識向上を図る。また区画整理後の新住民・店舗にも積極的にアプローチし、参加者の偏りをなくす。
成果指標の達成見込み	地域住民等の三郷中央駅周辺におけるまちづくりへの関心や期待が高まり、達成可能と考える。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。